

# 令和3年度寒川町社会教育委員会議第2回公民館部会 意見報告書

第2回公民館部会が書面開催のため、郵送等で意見報告書を提出いただきました。

## 【報告事項】

### (1)新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う町内公民館の対応について

### (2) 令和3年度公民館事業4月～7月実績について

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止措置や緊急事態宣言措置と公民館活動にもいろいろ制約が課せられる中、その時できる活動を実施された。参加人数が少なかった事業もありますが、特別な環境下の実施なので、やむを得なかったと思われま

## 【協議事項】

### 公民館サークルの育成・支援について

- 公民館サークル入会体験フェスタは毎年行っているが、入会希望者が少なく、今後の対応が重要。
- だがしや楽校は今後の活動に期待。
- それぞれの都合に合った日程や時間などそれらと見合わせながら選択して活動してゆくとおもわれます。活動、行事などもっと認知されれば、参加者も増えるのではと思われま

すが、コロナが落ち着いて、参加者も安心して出てくれるのではないかと思います。期待しましょう。

### ● 『公民館の認知を高める』

公民館の活動を知ってもらうためには、町民に対して繰り返し情報提供を行うことが重要。受動ではなく能動。

現在3館（町民センター、南・北公民館）で個別に作成している①「サークル紹介」冊子、②「公民館だより」を活用する。現在は各館に来た人にしか目に触れないのはもったいないので、多くの人の目に触れ、手にとって見てもらえるようにする。興味を持ってもらい、公民館に足を運んでもらう。

①「サークル紹介」冊子は毎年更新しているので、新しく作成した時や体験フェスタ前に広報に掲載し、PRする。役場に置き町民の目に触れるようにする。

②「公民館だより」は毎月作成している。役場に置き、町民の目に触れるようにする。

①、②とも目について手にとってもらえる工夫が必要。

- 『若い世代の利用を増やす』

中高生が個人趣味として行っている人の発掘を行う。その中高生を講師として講座を開く。(内容の精査、発表のアドバイスや協力を行う。マスコミへのPRを行う。発表の場の提供。学校教育とは違う活動で子ども達の地震とやる気を援助する。寒川版博士ちゃん、話題性を作り注目してもらう)

上記から趣味を同じくする人や趣味を持った人達で「サークル」を作る。(サークルにするには5名以上必要。高校生以下は保護者の協力が必要)

大学生や成人も拡大していく。

発送転換が必要。行政もダメ、ダメではなく、どうしたら協力できるかを考える。

- 前回の会議の意見とだぶる部分がありますが、コロナ禍の中、サークル休止から退会や新規会員を拒むサークルがあるのが現状であるので、サークルの育成や支援は公民館(生涯学習推進会議も含む)が主体となり、公民館に行きたくなるような講座(趣味や運動健康関係など)を開設して、サークル化に繋げていくのが一番かな? 茅ヶ崎市や藤沢市のサークル活動状況や悩みなどの情報が入れば参考にしたいと思います。

## 【その他】

**県社会教育委員連絡協議会及び県公民館連絡協議会の令和3年度予定について**

意見なし